



公共施設の運営に民間も入れる話、市長の答弁で、具体的な中央公園のにぎわいの例が出てきて、それだけ聴くと、民間を入れたほうがいいのかと多くの人が思うかもしれない、と思いながら聴きました。でも、お店を入れたことで、利用者層が変わっているだろうと危惧します。お金がかかる店を、日常的に図書館や公民館を利用している子どもたちや障がい者がどのくらい利用したか、直接、公共施設を利用している個人にアンケートをとって、数値を出してみたらどうかと思います。

障がい児移動支援の市長の答弁にも驚きます。「介護者の急病時には利用を認めています」とは???急病にならないと利用できないとは、ものすごい負担ではないですか。

教職員の退職者の多さにも驚きます。休憩時間が保障されていないのも大変です。お昼時間から数時間、学生アルバイトを入れるとかできないんですかね…。根本的には交代要員が居ないと、確保はされないような気がします。

歯と視力の健診の受診率の低さにも驚きです。あえて欠席している子どもの話は衝撃で、一日中頭を巡りました。その日に欠席しても、後からどんな形でも全員が必ず受けるのが当然では???次の日に、病院に連れて行ってあげるとか。市長の答弁も驚きで、何年も連続で受けていないような子どもがいたとすれば、そのこと自体がおかしいです。大人も、職場で健康診断を受けないという選択肢はないのではなから、必ず地域の歯医者さんに行ってください、というようにすればいいのではないかと思います。それを担任や保健室での対応というのはいかがでしょうか、ちゃんとお医者さんにみてもらってほしいです。

健診の際のプライバシーの保護については、市が確実に動きそうで、よかったと思いました。

タブレットの教職員向けの研修が、各校1人ずつやりました!というのにはびっくりしました。基礎講座は全員に研修するのが当然では?と思ったんですが…。1人が受けて、それを全員に伝えるのは、その人の負担が重すぎるかと。生徒だったのに突然先生になるのは無理では?Zoomでも全員が受けられるようにしたいのに…。

どの質問も、要望している人の顔が見えてくるようで、ほんとうになんとかしてほしいと思いました。教職員の話は、組合員でない人に聞いてもらいたい、そうしたらきっと励まされるに違いないと思いました。動画で見られること、私の友だちにも伝えたいと思います。

沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読

沖縄全戦没者追悼式で徳元穂菜さん(小2)が朗読した「平和の詩」の全文は次の通りです。



「平和の詩」を朗読する徳元穂菜さん(23日、沖縄県糸満市)

こわいをしって、へいわがわかった
沖縄市立山内小学校2年 徳元穂菜さん

おはあちゃんも おじいちゃんや びじゅつかんへお出かけ

いっしょに みんなでお出かけ うれしいな

こわくてかなしい絵だった たくさんの方がしん でい た 小さな赤ちゃん、おかあさん

おはあちゃんも おじいちゃんや びじゅつかんへお出かけ

おかあさんが、七十七年前のおきなわの 絵だと言った ほんとうにあったことなの た

た たくさんの方がしん でいて ガイコツもあった わたしとおなじ年の子どもが

おはあちゃんも おじいちゃんや びじゅつかんへお出かけ

かなしいよ かわいそうだよ せんそうのはんたいはなに? へいわ? へいわってなに?

きゅうにこわくなって おかあさんにくっついた あたたくてほっとした これがへいわなのかな

おはあちゃんも おじいちゃんや びじゅつかんへお出かけ

を聞いてくれた そして仲間おれい これへいわなのかな せんそうがこわいから へいわをつかみたい ずっとポケットにいれて ずっとおく

ななくさいように わすれないように こわいをしって、へいわがわかった

おはあちゃんも おじいちゃんや びじゅつかんへお出かけ